

## 玉野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進行状況

### 1

#### 計画について

令和6年（2024年）3月に策定された本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づく地球温暖化対策計画であり、市役所自らの事務事業の実施に伴う温室効果ガス排出量抑制を行うことにより、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指しています。

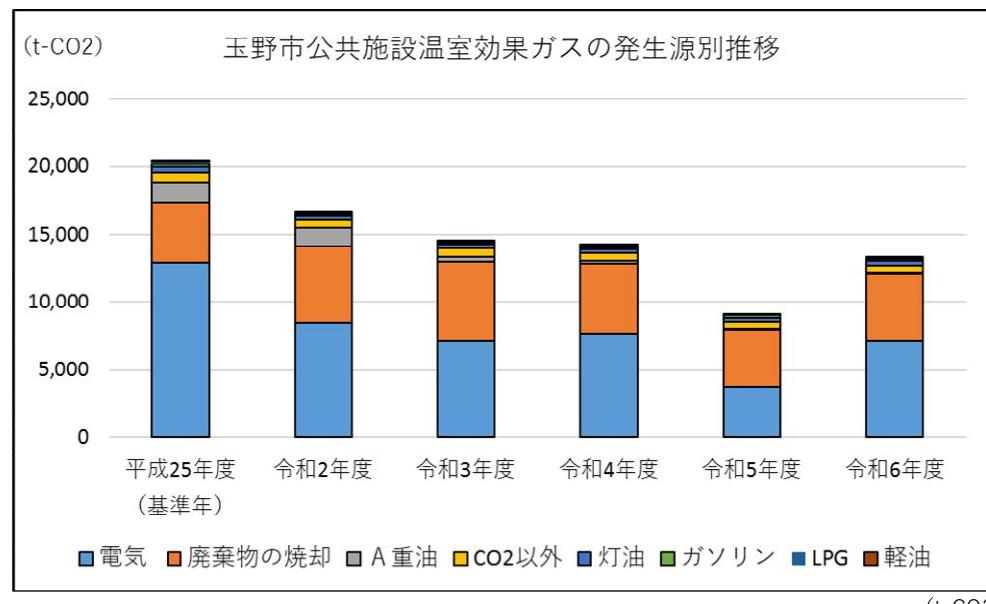
本計画期間は令和6年度(2024年度)から令和12年度(2030年度)までの7年間とし、本市の事務事業から排出される温室効果ガス<sup>※1</sup>を令和12年度(2030年度)までに基準年度である平成25年度(2013年度)より60%削減することを目標としています。

#### ※1 温室効果ガス

本計画では二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)の3種類のガスを削減対象とします。

### 2

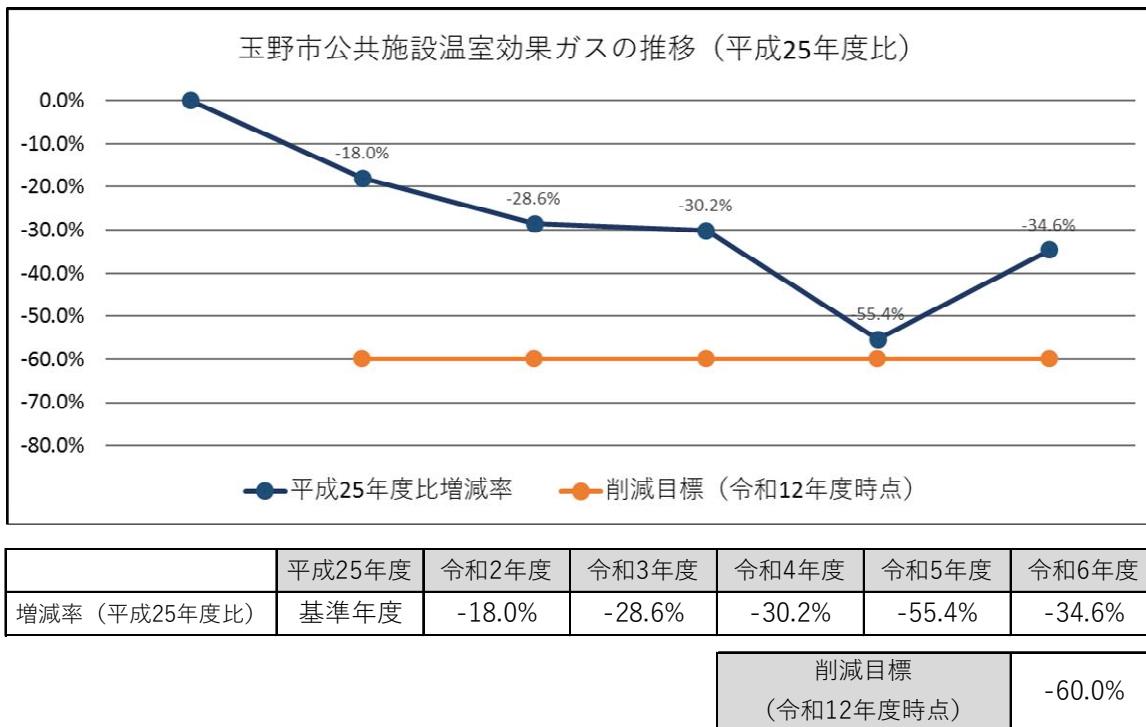
#### 温室効果ガスの発生源別推移



項目	平成25年度 (基準年)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
電気	12,918	8,432	7,119	7,655	3,730	7,091
廃棄物の焼却	4,413	5,740	5,867	5,208	4,189	5,039
A重油	1,489	1,285	371	194	96	98
CO2以外	702	600	605	557	514	508
灯油	461	338	314	305	294	324
ガソリン	175	158	158	177	165	160
LPG	146	73	72	57	48	48
軽油	94	105	66	92	62	64
計	20,397	16,732	14,571	14,246	9,097	13,333

## 3

## 温室効果ガス排出量の基準年度（平成 25 年度）比



## 4

## 温室効果ガス排出量の基準年度（平成 25 年度）比

令和6年度の温室効果ガス排出量（平成 25 年度比）は、前年度と比べ 20.8% 増加しています。これは令和5年度に供給された電気が著しく温室効果ガス排出係数<sup>※2</sup>が低いものであったことが要因です（概ね電気の使用量は両年にて同等です）。参考：令和5年度電気使用量：13,791,178kwh、令和6年度電気使用量：13,884,703kwh)。

基準年度と比べた各年度の排出量は、省エネルギー化の進展や再生可能エネルギーの導入拡大や ICT 技術の活用等により、全体的に減少傾向を維持しています。今後も引き続き温室効果ガスの削減に努めてまいります。

## ※2 温室効果ガス排出係数

温室効果ガス排出の要因となる活動（電気・燃料の使用等）により排出される温室効果ガスを定量的に測る指標であり、高係数の活動は温室効果ガス排出量が大きくなります。電気においては一般的に、火力発電由来の電気は係数が高くなり、太陽光、風力発電由来の電気は係数が低くなります。